

製品名: D55 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09772**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TPD52L3
別名	TPD52L3; Tumor protein D55; hD55; Testis development protein NYD-SP25; Tumor protein D52-like 3
遺伝子 ID	89882.0
SwissProt ID	Q96J77
免疫原	抗血清はヒト TPD52L3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

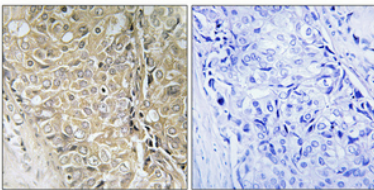
この遺伝子は、腫瘍タンパク質 D52 様タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。これらのタンパク質は、N末端コイルドコ

イルモチーフを特徴とし、このモチーフは他の腫瘍タンパク質 D52 様タンパク質とホモマーおよびヘテロマー複合体を形成するために使用されます。コードされているタンパク質は精子形成において役割を果たす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、類似性: TPD52 ファミリーに属します。、組織特異性: 精巣で特異的に発現します。成体精巣では胎児精巣よりも 5.6 倍高いレベルで発現します。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。